

〔科目名〕 経済演習 II				〔単位数〕 4単位		〔科目区分〕 演習科目	
〔担当者〕 河野秀孝						〔授業の方法〕 演習	
〔演習テーマ〕 本演習は、卒業論文執筆準備のためのものでもありと考えてください。まず論文の課題を設定し、論理的思考の枠組みとしてのモデルを構築してもらいます。 次に、モデルから論理的に導出された仮説の検証をどのように行うかを考えてもらいます。仮説が自分の思い込みでなく、目的とした対象の本質を浮き彫りにしているかを、どのようなデータでもって、どのような方法で、計量的に検証するかを考えてもらいます。							
〔演習内容〕 論文執筆にあたっては、まず、論文のテーマが問題であり、よく絞り込まれていることです。そして、どのような視点から論理の枠組み（モデル）を構築し、どのような方法で仮説の検証をするかを考えてもらいます。							
〔科目の到達目標〕 卒業論文の課題を設定し、論理的思考の枠組みとしてのモデルを構築ができることを目指す。							
〔ディプロマ・ポリシー（DP）との関係〕							
学部				学科			
DP1 ○	DP2	DP3	DP4	DP1	DP2	DP3 ○	
〔前提条件〕 ミクロ経済学を履修済みであること。							
〔学修の課題、評価の方法〕（テスト、レポート等） 成績評価は、定期的なレポートの提出とクラスでの発表に基づき、評価する。							
〔教科書等〕 資料を適宜配布。また、参考書として、 1. ハル・R・ヴァリアン著 佐藤隆三監訳『入門ミクロ経済 [原著第9版]』勁草書房、2015 年。 ISBN 978-4-326-95132-1 2. ポール・ミルグロムとジョン・ロバーツ（訳 奥野正寛 他）「組織の経済学」NTT 出版、 1997 年							
〔実務経歴〕 製造業での実務経験を活かし、私たちの生活の身近な事例を考えながら、経済の諸問題を統一的・体系的に理解・分析できるようになることを目的とします							
授 業 スケ ジ ュ ー ル							
時期	テーマと内容						
4月から 5月	論文のテーマ探し。具体的には、興味のある本を読み、本の要約とその感想をクラスで発表する。						

6月から 7月	興味のある本を読み、本の要約とその感想をクラスで発表する。
10月から 11月	幾つかの興味のあるテーマを探し、その中から、卒論に適したテーマを選び内容を絞り込む。
12月から 1月	論文執筆のために、絞り込まれたテーマに沿って、どのような視点から論理の枠組み（モデル）を構築し、どのような方法で仮説の検証をするかを考える。